

図書館だより 第4号

平成27年3月19日
横浜市立緑園東小学校
校長 副島江理子
学校司書 藤森香織

「移動図書館」、「ほんだれきしかん」始めました！



高学年は休み時間もさまざまな活動があり「なかなか図書館に行けない」という声を聞いた5年生の図書係と図書委員が「移動図書館」を考えました。毎日中休みに教室前のホールにブックトラックを運び、図書の貸出と返却をしています。

また、「そえじまぶんこ」、「つだぶんこ」に続き、本田副校長の「ほんだれきしかん」コーナーができました！『ビジュアル日本の歴史』が100冊以上あります。社会の学習にぴったりです。



「読書の日」の取組、展示

毎月23日の「読書の日」では、2月22日の「ねこの日」に関連して「ねこ」が登場する本を展示しました。3月は卒業関連の本を展示しています。



「ねこの日」展示



「卒業を喜ぶ会」より副島校長紹介の『ありがとう』



卒業おめでとう
「春」に関する本

図書館資料を使った授業と作品

子どもたちが図書館資料を使った授業や制作した作品を紹介します。



1年「じどう車くらべ」



1年「おはなしれっしゃ」



2年「ことばについてかんがえよう」



3年「本でしらべてほうこくしよう」



4年「野原の仲間になって」



4年「ことわざブック」を作ろう



5年「友達伝記」



5年「なりたい自分宣言」



6年「卒業研究 世界の中で生きるわたしたち」

子どもたちは、自分の作品が飾られているのを見てちょっと照れたり、他の学年の作品を見て楽しんだりしています。また、次の学年の参考になりそうです。

最近では、図書館で用意した資料だけではなく、公共図書館や関係施設に足を運んで資料を集める姿が見られるようになりました。子どもたちが自ら必要な資料を探し出せるよう、今後も支援したいと思います。

先生おすすめの本を紹介します！

緑園東小の先生はこんな本が好きなのです…。ぜひ読んでみて下さい！

校長先生

『どんなにきみが好きだかあててごらん』

サム・マクブラットニー, アニタ・ジェラーム

「人を愛することのすばらしさを実感します！」

副校長先生

『峠越え(とうげごえ)』伊東潤

「本能寺の変の後の徳川家康の行動がよくわかったので。」

内海先生

『がまくんとかえるくんシリーズ(全4巻)』

アーノルド・ローベル 「二人のほんわかした友情が大好きだからです。」

沼田先生

『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット 「楽しい冒険の旅なので男の子におすすめです。」

平先生

『十五少年漂流記(じゅうごしょうねんひょうりゅうき)』

ジュール・ヴェルヌ

「自分達で生きていく強さがかっこいい。」

尾澤先生

『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ

「いつ読んでもその時なりの解釈ができるから。」

伊藤深雪先生

『しばわんこの和のこころ』 川浦良枝

「日本のすてきなところ(伝統)が、きれいなイラストで紹介されています。」

鈴木先生

『ことわざ絵本シリーズ』 五味太郎

「ユーモアあふれる絵とわかりやすい解説で、とても読みやすいです。」

川口先生

『チーター大セール』 高島邦生

「ちょっとびっくり。おもしろく、かわいい絵本です。」

雨宮先生

『兎の眼(うさぎのめ)』 灰谷健次郎

「子どもながらに先生という職業について考えさせられました。」

小林先生

『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治

「幻想的な表現を星空にちりばめ、親友との別れなど読者に様々なメッセージを残します。」

保谷先生

『龍(たつ)の子太郎』 松谷みよ子

「りゅうになっておっかさんをたずねる旅に感動。」

中島先生

『巖窟王(がんくつおう)』アレクサンドル・デュマ

「困難の中にあっても望みを捨てず、信念をもち続けることの大切さを学びました。」

本田先生

『ファーブル昆虫記』 アンリ・ファーブル

「いろいろな虫の生活の様子がよく分かり、虫たちの知恵に驚かされました。」

小泉先生

『少年と子だぬき』 佐々木たづ

「少年と子だぬきの心のふれあいがあたたかい。」

竹原先生

『ぐりとぐら』 中川李枝子

「カステラがとてもおいしそうです。」

廣瀬先生

『シートン動物記』 アーネスト・T. シートン

「動物の生態がよく分かります。小学生の頃に全巻読みました！」

有澤先生

『みずいろのぞう』 nakaban

「みずいろのぞうがどんどん遠くまで行った先がステキなところだから。」

伊藤美香先生

『半日村』 斎藤隆介, 滝平二郎
「みんなで力を合わせると大きなことができるから。」

津田先生

『ペンギンハウスのメリークリスマス』
齊藤洋
「少し不思議な話が好きな人におすすめ。」

栗田先生

『DIVE(ダイブ)!!』 森絵都
「あまり知られていない飛び込み競技の、描写の美しさと熱い友情が魅力です。」

黒木先生

『赤い実はじけた』 名木田恵子
「初恋のよさや苦しさがわかるから。」

坂田先生

『マジック・ツリーハウスシリーズ』
メアリー・ポープ・オズボーン
「いろいろな国に冒険した気分になれるから。」

菅原先生

『夢を旅した少年 アルケミスト』 パウロ・コエーリョ
『クリック 佐藤雅彦超・短編集』 佐藤雅彦
「どちらも脳みそをゆさぶってくる!! 考えさせられる本だから。」

松尾先生

『赤毛のアン』 モンゴメリ
「ぜひ、若いうちに想像の翼を広げて読んで下さい。」

池田先生

『村上海賊(かいぞく)の娘』 和田竜
「戦国時代を楽しんで読むことができる。」

大杉先生

『せかいのひとびと』 ピーター・スピーアー
「世界には色々な人がいて、それが素晴らしいことだと感じられます(^)」

ロシータ モリモト先生

『I'll always love you』 Hans Wilhelm
(『ずっとずっと大好きだよ』 ハンス・ウィルヘルム)
『Where's spot?』 Eric Hill
(『コロちゃんはどこ?』 エリック・ヒル)

星野先生

『だれも知らない小さな国』 佐藤さとる
「童話のような夢のある話です。」

藤森

『ちいさなあなたへ』 アリスン・マギー
『ありがとうの花束』 S・ヴィーダーホルト
「卒業生と保護者のみなさんへ！」



一年間、ありがとうございました。
春休みもたくさんの本に出会えますように…。

